

「新たな教職員の学び」に関する 教職員支援機構（NITS）の取組について

独立行政法人教職員支援機構

■はじめに ～「研修観の転換」に向けた NITS からの提案～

独立行政法人教職員支援機構（NITS（ニッツ））は、全国の教育委員会等とともに「新たな教職員の学び」の実現に向けて、「探究型」の教職員研修の開発など、日々、試行錯誤を行っています。

令和6年4月、「『研修観の転換』に向けた NITS からの提案（第一次）～豊かな気付きの醸成～」を公表しました。これは、令和4年度からの試行錯誤を踏まえた NITS としての「気付き」を基に、全国の研修担当者とともに教職員研修の質を上げていく上で、手掛かりになるのではないかと考えている発想や考え方を、「共通言語」として提案するものです。5つの「共通言語」は、以下のとおりです。

- ① 研修デザインの三角形
- ② 研修目標の3要素
- ③ 豊かな気付きが醸成される学び
- ④ 探究型研修
- ⑤ 学び合いのコミュニティ

今回の提案は1つの「仮説」であり、「研修観の転換」に向けた対話のきっかけになればと考えています。また、教職員研修について学び合う際の一つの教材としてご活用いただくと有難く思います。詳しくは下の URL からご覧いただけます。



取組名	ホームページ URL	QRコード
「研修観の転換」に向けた NITS からの提案（第一次）	https://www.nits.go.jp/about/strategy/	

本稿では、「研修観の転換」に向けた取組として、令和6年度に新しくスタートした「コア研修（1年コース B：学校課題）」「特定課題探究研修（働き方改革探究研修）」「NITS Learning Hub」を紹介します。

■コア研修（1年コース B：学校課題）

令和5年度から、探究型研修として、コア研修を開始しました。コア研修は、「自ら問いを立て、実践の振り返りや対話、知識の習得・再構成を重ねながら、実践を展開することで、自他の価値観を捉え直し、新たな問いや実践に向かう」持続的な探究のプロセスを通して、課題を探究する力や、探究的な学びをデザインし、マネジメントする力といった、教師にとって中核的（コア）に求められている力を高めることを目的とした研修です。



研修名	ホームページ URL	QRコード
コア研修（1年コース B）	https://www.nits.go.jp/training/101/010.html	

コア研修（1年コース B：学校課題）は、校長等を対象とし、参加者一人一人が学校課題を設定し、その課題を問い直したり実践を振り返ったりしながら、インターバル期間を含めて約1年間かけて探究していきます。6月に実施した3日間の対面研修では、課題について深く考えるきっかけとなる「問い」を基に、対話や資料読解等を行い、省察を通じて生まれてくる豊かな気付きを大切にしました。参加者は、自身の教育観を見つめ直しながら、学校課題への向き合い方や取り組み方について、考えを深めていました。10月と2月にオンライン研修を行い、自身の実践を振り返りながら、継続的な改善サイクルを回していきます。

■特定課題探究研修（働き方改革探究研修）と参加者の声

中央教育審議会「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」には、学校における働き方改革の目指す理念として、「教師のこれまでの働き方を見直し、教師が日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになる」ことが示されています。この理念を実現するには、様々な施策を推進するとともに、教職員が少し立ち止まって、それぞれの働き方について考えたり、自校等の働き方改革への向き合い方を捉え直したりすることが大切ではないかと考えました。このような考えのもと、特定課題探究研修（働き方改革探究研修）は、学校における働き方改革を組織的・協働的に展開していく力を涵養することを目的としています。



研修名	ホームページ URL	QRコード
特定課題探究研修 （働き方改革探究研修）	https://www.nits.go.jp/training/101/011.html	

特定課題探究研修（働き方改革探究研修）は、6月と12月にオンラインで研修を行い、そのインターバル期間にそれぞれの所属で実践しながら探求していきます。参加者は、研修を契機として、自身の働き方や働き方改革の目的について改めて考えたり捉え直したりし、実践していく中で、実際に働き方改革に取り組む難しさや喜びなど、新たな気付きがあるのではないかと考えています。以下に、1日目のオンライン研修での参加者の声を紹介します。

〈参加者の声〉

- テーマについて自身の考えを言語化しアウトプットすることは学びになっていると実感します。そして他の先生方の言語化したお考えは胸にすっと入る感覚があります。改めて、子供の学び手としての気持ちを体験することが私たちにも必要だと思いました。
- 「働き方改革」について考えた一日でしたが、それは入り口に過ぎず、一人一人が自分の教員人生を振り返りつつ、それぞれの教師観や教育観と向き合う時間だったと思います。つきつめれば、働き方改革は、「教師とは、学校とは、どうあるべきか。」という問いそのものだと感じました。

■ NITS Learning Hub

令和6年度、NITSでは、多様な人が自分たちの学びや研修の在り方について少し立ち止まって考え、多くの仲間と語り、つながることができる場になるよう、東京事務所の一部を改修し、新たに「NITS Learning Hub」として運用を開始しました。



これまでに「教職員の在り方を考える」、そして「研修観の転換に向けて」と題した、2つのシリーズを実施しました。省察や対話を通じて、自身や研修の在り方を問い直したり、探究したりするきっかけを醸成する場として、多くの教育関係者に活用いただいています。今後も多様なテーマを扱いながら、東京事務所の地の利を生かし、豊かに学び合える場を創っていきたいと思いますので、ぜひ「NITS Learning Hub」へお越しください。

取組名	ホームページ URL	QRコード
NITS Learning Hub	https://www.nits.go.jp/training/seminar/O21.html	